

2018.4.29 目国内 1220m : 「北斜面大滑走」の山旅

C L 藤木、スキー①班 : L 西田、SL 小山内、長沼、安藤、笹山、門馬、太田、スキー②班 : L 相馬、SL 渡邊、山岸、酒井、八重樫、後藤、天候 : 晴れ/くもり、風速 : 山頂で 10m/s ?、気温 : 終日プラス 5~10℃

タイム : パノラマライン新見峠分岐 8 : 10 → 目国内山頂 11 : 13 → 昼食後出発 12 : 08 → 前目国内 13 : 08 → パノラマライン 14 : 00 : 登り 3 時間、下り 1 時間 50 分 : 高低差 638m、累計標高上り 973m、移動距離 11Km

6 : 00 前日愛妻急病につき山行を断念した F リーダー、日帰りで参加することに。羊蹄もニセコも春霞?否、ロシアの森林火災の影響だそう。地球はつながっている。

7 : 30 チセヌプリスキー場 P で合流。まだお酒が残ってる人、誰だ?。開通したてのパノラマラインから新見峠分岐へ。道の両側に雪の回廊ができています。

8 : 10 スタート、車道をゆるゆると約 2Km を 50 分かけて歩く。目国内山頂が見え隠れ。あそこを滑るのだ。この斜面はお初。どんなところかな?ワクワク。

9 : 05 前目国内へ取りつく手前で休憩。ここで O 氏腰痛悪化のため山行断念。残念。いよいよ急登開始、やっぱりキツイ。今日は静かな山行、黙々と歩く。

10 : 10 前目の南斜面をトラバースしてコルに到着。風は南から、冷たくない、春ですね。高度が上がると風が強くなり息ができない。でも寒くない。前回悪天候で断念した大岩あたりが見える。あのホワイトアウトに比べたら今日は天国のよう。

11 : 13 目国内山頂着。スキー靴で岩場登りは難しい、足首曲がらない。雪がないのでアイゼンは装着せず。風強くて飛ばされそう。急いで頂上写真パチリ。その後ランチタイム。

12 : 08 滑走開始。F 氏、例の如く一番乗りで drop in。あっという間に小さく遠く、高低差 200m を一気に滑り降りる。上からのぞき込むと谷底に落ちていくような急斜面。勇気を奮って滑り出せ。雪はいい感じ。ブッシュもなくゲレンデ並み好斜面。ああ、楽し。あっという間に滑走終了。今滑り降りた斜面を何度も名残惜しく眺める。小休止、息を整え次なる斜面を求めてトラバースで東進。

12 : 40 でっかい雪玉がゴロンゴロン転がってる斜面に遭遇。雪崩れてる。こんなの落ちてきたらひとたまりもない。急いで通過。食後のシール登行は一段とキツイ。

13 : 08 前目国内山頂着。最後の斜面を味わいながら滑り降りる。お楽しみのは後は車道をゆっくりゆっくり漕ぎ進む。ほぼ腕力で。ああ疲れる。足にキテる~、悲鳴。

14 : 00 駐車場にとouchャこ。O 氏と再会。

14 : 30 アンヌプリスキー場 P にて G 氏、羊蹄山ヘルメット・ゴーグルを捜索に向かう A 氏、N 氏とお別れの儀。今日も一日良く遊びました。今シーズンのニセコを締めくくる、絶好の春スキー日和でした。こんな穏やかな目国内は初めて。また来年楽しませてくださいね。リーダー各位ありがとうございました。

P.S. A 氏のヘルメットは無事発見。めでたしめでたし。山の神様ありがとう。



目国内頂上直下、指示出す F 氏



前目山頂にてお茶目 W 氏



滑走を終えて一休み春の陽射し



前目国内から目国内望む。あの斜面を滑り降りたのだ、感慨一入。



帰り道 種まき待つ畑と羊蹄美し



ランチタイム、ほのぼの

太田 記